

警城時報

行發日八
編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 警城時報社
發行所 警城時報社
一部金貳錢 一月金廿錢
廣告料 一行十四字 五十錢
日刊(日曜祝祭日) 翌日休刊

郷軍全會員が

忠魂碑にぬかづく

さのふ分會大會

平郷軍聯合分會大會は七日午前九時平郷商業學校講堂に開き、宣言決意を宣明した後訓練を行ひ松ヶ岡公園忠魂碑を参拝した。

宣言

皇紀二千六百年記念の佳節に當り、漢發せられたる詔書に感奮せる第二師團管内の在郷軍人は時局の深刻性を再認識し、自衛自戒以て國策に相應し、經濟道徳を恪守して良兵良民たるの範を示し、民心を作興して和衷戮力相携へて時艱克服並に完遂を期す。

決意宣言

一、聖諭に恪遵し世論に惑はず一致團結軍人の本分に邁進す
二、日本精神昂揚の核心となり範を衆に示して時艱を克服し國防國策に寄與す
三、本大會の趣旨を日常の行動に具現し堅忍持久興亞事業の完遂を期す

平市警防團の 後援會陣容

平市警防團後援會は大谷市議の熱心な奔走により過般の平市會に於て全員の賛成を得準備中であつたが七日午後一時平市役所に創立委員會を開き役員を決定規約を制定して寄附三萬圓を募集する事になつた、一万八千圓で自動車ポンプを購入提供する等である。會員は五百圓以上寄附者を名譽會員、百圓以上特別會員、五十圓以上正會員、十圓以上賛助會員とした。

- | | |
|-------|--------|
| 平警察署長 | 渡邊 勇吉 |
| 平市會議長 | 野崎 滿藏 |
| 同 副議長 | 進藤 龍輔 |
| 同 議員 | 諸橋 久太郎 |
| 同 議員 | 山崎 與三郎 |
| 同 議員 | 青沼 銜太郎 |
| 市長 | 伊藤 秀吉 |
| 副市長 | 大谷 武雄 |
| 市助役 | 猪狩 庄平 |
| 市會議員 | 井上 貞治郎 |
| 市議員 | 石坂 隆太郎 |
| 市議員 | 今井 岩根 |
| 市議員 | 原 義雄 |

益榮丸遭難

仲作港外で座礁

静岡縣下田港から鑽石を満載し、濱と岡ひながら遭難者の捜査に當り、岩手縣宮古港へ回途中の益榮丸(七〇トン半)が遭難した。五日夜十時ごろは江名町中の作の沖合は同地方稀な猛吹雪で益榮丸船長藤定九郎氏は九名の乗組員と共に中の作港へ避難すべく必死の努力を続けてゐたが、夜の猛吹雪で一寸先も見えず、船は手探りで、暗くやうに岸へ岸へと物凄く海鳴りに採られながら、心細い中、うらやまと思ふ間に船は木の如く暗礁に吹きつけられ船体は眞二つに破れ、乗組員は怒濤の中に捲き込まれた。藤定氏は夢中で手に觸れた木にしがみつき、暗闇の中を激浪に翻弄されながら、泳ぎ続けてゐるうち、運よくこれと隣を急いでゐた氣仙沼港の新興丸に救はれ九死に一生を得たが、他の九名は波に呑まれたまゝ姿を消した。益榮丸は地元江名警防團では直ちに總動員して暗夜の吹雪に狂ふ怒

東都の郊外から

春の隨筆

毎年寒い頃になると改築の方を考へ乍ら暮してゐるのであるが、この頃の様な時勢になつたら尙當分の間は一寸手がつけられないであらう。
いつか私の家も周囲の家に取つかまされて埋つてしまひ、どか入口だかなんだか判らぬといはれる様に入り込んでしまつた。

磐炭所長榮轉

後任所長は一瀬氏

磐城炭礦所所長菅原萬次郎氏には本社から一瀬良一郎氏が、後任に八日就任の指撈をなした。

魚の供養

小名濱町で執行

佛敎護國團七階班では小名濱町役場外各種團後援會の十日午後一時から小名濱市場に於て寶漁供養をなし、同日二時半から講演會を同小學校講堂に開催する。魚は出征部隊陣中慰問として第二師團司令部へ送魚する等である。講師は左の如し
元第二師團長陸軍中將 井上 一 次閣下

公民奉告祭

某中學校長元十官學校教員大村 桂 巖先生

戦塵の北支にも

春が訪れました

長谷川正一郎

策の中合せ懇談を行ひ、この日を有意義に送る。
突然大きな岩にぶつかり、こいつはいけなと思ふ間に二度目にガンとまた船体を手ひどく岩にぶつけ同時に船が折れ船体は眞二つになり私は海へ放り出され、それからとは夢中でした。まだ悪い夢を見てゐるやうで落付けませぬ、乗組員が皆助かるやうに祈るだけです。

能久親王

建碑誌

青沼市長を會長とする市役所内の北川宮能久親王御遺蹟保存會では昨年六月二十五日を以て戊辰に於ける警城縣管内故郷北川宮能久親王御入奥の第一、二夜旅泊遺蹟を蹟古に保存奉るべく右二所に建碑し、刻下非常時局と相俟つて、大々有意味なる一事を舉行したが、該會の經過苦心等に就て、本誌に傳ふべく建碑誌を纂列して刊行し、建碑の各方面に類するべく式典出版後定の處種々なる支障の爲遂に當日の間に合はなかつたので、式後前稿に於て大半印刷せし分を棄却して、更に改稿新に印刷に附し、此程漸く完成の上各關係方面に贈つた。誌は約四百四十頁、口繪故宮殿下御影をば、輪王寺門跡と寛永寺、建碑主旨、式典記要、其他考證の精其苦心の跡を窺ふに充分なるものある近來の郷土關係出版物である。

安田生命 保
日本共立火災 險
東京動産火災 險

平代理店 井上貞治郎
平市五丁目 電話六六番

冷凍魚

日本水産特約(電話三六三三六)
郵賣平製氷會社
尾箱平代理店 印刷屋
尾箱平 四丁目(電話五三八)

鯛 鮭 金頭 帆立貝
エビ カニ 貝類 其他

和文タイプライター
最新事務用品類
文具一式
製圖並一測量用品
謄寫版並に附屬品

藤 森
電話 七三〇
番 一五七
【會商器用務事藤森】

三ツシ

平野前大通り(シシガ) 世界代表
シシガ
アサヒ
ニッポン
コントロール

◎月賦販賣 ◎無料教授

漢方**百草根**
塗布藥
陸海軍病院御用藥

丸龜商店
平市大町 電話一三三番

附屬産院 新設
妊産婦入院隨時
婦人科 木村病院
平市新川町 電話一六四番

おでん
配達人入用 電話一四一番

折詰屋
お惣菜さつま揚・吉原揚
平市一丁目

太鼓 各種
神社佛閣用太鼓
武徳道場用太鼓
歓迎迎用音楽隊樂器(タナベ製品)
カタロン進呈

佐藤太鼓樂器店
平市六丁目 電話四八三

酒
味香

おでん 始めました
出前迅速
十一屋食堂
平市前 電話三七三番

開業
小兒科 酒井醫院
内科 井保
醫學博士 酒井保
入院隨意 電話五五番

御婚禮御着附
パールマントウエープ
御婚禮用髪を御利用下さい
和洋結髪
オゾン美顔術
御染髮洗毛術
爪術

水野化粧院
平市驛前 電話二七八一(營業所) 五二五(自宅)

西村屋藥局
電話 3番です
藥品百貨
寫眞機材料の店です
平市本町二丁目
西村屋藥局

女車掌募集 (三名)
1. 年齢十六才より十九才まで
2. 未経験者にも可
3. 給料其他は委細面談

合名 平・四倉乗合自動車
會社 平四丁目(電話五九四番)

干やなぎ
いか切込み
丸仙商店
平市土橋 電話六六一番

漢方**生公華**
貼藥
濕布で名藥
助膜・氣管支・關節・神經痛・肺炎・ロイマチス
膜・腰痛・中耳炎・骨

平市五丁目角 山野邊藥局